

佐々木(飛龍3)ユース五輪V誓う

飛龍高レスリング部3年の佐々木航が、6日(日本時間7日)にアルゼンチンで開幕するユース五輪のレスリング男子グレコローマン51キログラム級に出場する。同大会のレスリングに県勢が出場するのは初めて。「勝つ気持ちは誰よりもある。いつも通りやれば優勝できる」と高校最後の大会で集大成を見せるつもりだ。

レスリング男子グレコロ51キログラム級

富士市出身。競技は3歳から沼津学園ジュニアレスリングクラブで始めた。中学では部活動の柔道と両立。柔道で習得した投げ技を武器に、高校入学後は上半身だけを使って攻防するグレコローマンスタイルで強さを発揮してきた。だが、アジア王者として臨んだ7月の世界カデット選手権は、初戦で6ポイントリードの状況からまさかの逆転負け。全国高校グレコも決勝で敗れて、連覇を逃した。



「集中力が切れて相手に隙を突かれた。ポイントが負け

県勢は4人、卓球平野も

ユース五輪の日本選手団は陸上、競泳など23競技に出場予定の男子48人、女子43人の計91人で編成された。県勢は佐々木のほか、陸上男子5000m競歩の岩川祐介(浜北西高3年)、同女子走り幅跳びの中津川亜月(浜松市立高2年)、卓球女子の平野美宇(日本生命、沼津市出身)が名を連ねた。主将は卓球男子の張本智和(JOCエリートアカデミー)が務める。

4年に一度開かれるユース五輪は国際オリンピック委員会(IOC)の主催で2010年に始まり、夏季は今年で3回目。冬季は12年に始まった。15~18歳の選手が対象で、文化・教育プログラムも盛り込まれている。

「ユース五輪で優勝を狙う佐々木航は9月25日、飛龍高でいる状況で焦り、さらに点を取られた」と佐々木。ユース五輪に生かせる教訓を得た。

全国高校グレコは、飛龍高の井村監督が自分のセコンドに付いた最後の大会だった。叱られて終わったことに悔しさが残った。

「ユース五輪に先生はいないけど、優勝で恩返ししたい」。地球の裏側から恩師に吉報を届ける。

(木村祐太)

ユース五輪で優勝を狙う佐々木航は9月25日、飛龍高